

みなさまは、小説や漫画で見たあの料理を実際に食べてみたいと思ったことはありませんか？料理と音楽についての何気ない描写がうまいなあと感じる作家の一人に村上春樹さんがいます。彼の作品のそうした場面に出会うと、料理は食べてみたい（あるいは作ってみたい）になりますし、音楽はその作品を聴きたくくなります。漫画に登場する料理で食べてみたいなあと思う作品は山ほどあって…例えば…ギャートルズの「マンモスの肉」やハイジの「穴の開いたチーズ」、銀河鉄道999の「ビフテキ(かつてそう呼んでいた『ビーフステーキ』の略称?)」や「落としたまごの入ったラーメン」、ハクシオン大魔王の「ハンバーグ」、梅さんの「握り」…あの頃の食欲を思い出します（そして、作品も見たくなる!）。カレーと言えば漫画「包丁人味平」に登場する「ミルクカレー」を食べてみたいですね。確か敵キャラの「ブラックカレー（だったかな?）」と対決する中で登場したような気が…。「味平カレー」（これもおいしそうだった）の完成前に登場した牛乳の入ったちょっとマイルドなカレーだったと記憶しています。今日の給食は、ポークカレー、南三陸産りんごのヨーグルトあえ、アーモンドフィッシュ、ご飯、牛乳でした。本日のポークカレーは、いつもと変わらぬおいしさでした。みんな大好きな南三陸町のカレーなら味平に勝てるかも（マニアックすぎる昭和の話でごめんなさい…）。

